沖縄県立博物館・美術館　学芸員講座

『運天湊之図』の成立とその背景

「仏郎西国三艘運天湊津着場之図」（部分）（東京大学史料編纂所所蔵）

2026.

9.12（土）

入場無料

14:00～16:00
（開場 13:30）

19世紀半ば、薩摩藩は沖縄島北部の運天港を通して、フランスと貿易を行おうと構想していました。本講座では、博物館企画展で展示中の運天を描いた絵図を手がかりに、琉球・薩摩・フランスをめぐる外交の動向を踏まえながら、その構想の背景について紹介します。

【キーワード】
#時を超えて過去から未来へ ー東京大学史料編纂所と、琉球の記録・絵図展
#運天港　#貿易構想　#出島　#島津家本

講　師　大城 直也（歴史担当学芸員）

会　場　3階　講堂（定員200席）

受　付　当日先着

お問合せ　098-941-8200

主　催　沖縄県立博物館・美術館

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
※席数に限りがあり、ご入場いただけない場合がございます。
※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

次回予告

2026. 10.10（土） 14:00～16:00 (13:30開場)
「島の記念碑ヒストリー ～竹富島・鳩間島・新城島・黒島・伊平屋島・野甫島・水納島・多良間島の総合調査の成果より～」
講　師　崎原恭子（歴史担当学芸員）